

誰一人取り残さない 安全安心なやさしいまちを目指して

Re Start

福祉課（内線222）

Vol.31 更生を支える保護司と地域

皆さんは、「保護司」として活動する方々をご存知でしょうか。保護司は、犯罪や非行に関与した人の立ち直りを支える民間のボランティアです。全国で約4万7千人、土岐市では現在15人の方が活動されています。

保護司は、更生を支援するほか、駅前のパトロールやあいさつ運動、小学校への出前講座、地域での防犯活動を通じて、地域社会とのつながりを促進する取り組みも行っています。

保護司の活動は、「土岐地区更生保護女性会（Will）」や、非行防止活動を行う青年ボランティア団体の「土岐地区 BBS 会」、犯罪に関与した人の社会復帰を仕事を通じて支える「協力雇用主」など、多くの市民や事業者の協力によって支えられています。

市役所の敷地内にある「土岐更生保護サポートセンター」では、平日の午前10時から午後6時まで保護司が常駐しています。更生保護に関することや困りごとがある方は、気軽にご相談ください。

人権感覚を高め お互いを認め合う 人権尊重のまちづくり

人権のまど

市民活動課（内線357）

子どもたちの未来を守るために

5月5日は「こどもの日」でした。皆さんはどのように過ごされましたか。

市では、全ての子どもが安心して健やかに成長できる環境づくりを目指しています。子どもたちが自分の気持ちを伝え、自由に学び、安全に過ごす権利を守ることは、私たち大人の大切な責任です。

また、子どもたちの健やかな成長には、保護者への支援が欠かせません。子育ては喜びが多い反面、ふとした瞬間に不安や孤独を感じることもあるものです。そんな時、周りからのちょっとした手助けや温かい言葉が、親の心のゆとりを生み出します。大人が笑顔でいられることは、子どもの心の安定や自己肯定感を育む基盤になります。

「こどもの日」をきっかけに、私たち一人ひとりが、子どもたちの幸せを支え合う意識を持ってみませんか。市はこれからも、子どもたちの健やかな未来のために、市民の皆さんとともに取り組みを進めます。

土岐商写真部×広報とき

土岐の写真撮り隊 Vol.36

「ツツジが咲く頃」

ツツジの花が美しく咲き誇る5月、外に出て季節の移ろいを感じることができます。土岐商では遠足があり、とてもわくわくしています。

みなさんも散歩をしてみて、やわらかな風に揺れる花々をぜひお楽しみください。

撮影班：三年生 長瀬^{さわ}紗和・伊佐^{ひな}治妃那
田中リエンアニカ